



ぬま健司 ニュースレター

2022年4月発行

Facebook、Insta、Twitter、Homepageで暮らしに役立つホットな情報を発信中です！



FBぬまけんじ

ぬま健司事務所
〒811-3113 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話・FAX: 092-944-2639
メール: ny2knm@gmail.com

古賀市議会議員
ぬま健司

3月定例議会が行われました 2月21日～3月23日



予算審査特別委員会

薬王寺インキュベーションについて
市長の見解を求めました
2022年3月14日(月)



一般質問

千鳥苑等の「移転・廃止」について
市長の見解を求めました
2022年3月16日(水)

第15号議案 令和4年度古賀市一般会計予算

予算規模

- 前年度比10.4%増の248億7540万8千円
過去最大規模
- 3月補正の繰越明許14億8700万円を加えると
実質予算規模は263億6200万円

大事業

- ①海津木 汚泥再生処理センターの建設工事費
約14億6000万円
- ②学校施設 北中大規模改造第2期工事、東中大規模改造
工事、東小、西小、花鶴小のトイレ改修等
5億4594万円
- ③コロナ対策 新型コロナワクチン接種2億6700万円
関連予算合わせて5億6614万円

2022年度予算の特徴
過去最大規模の248億7540万8千円

薬王寺「快生館」など4点について指摘しました
多額の公金投入の根拠と見通しを明確にすることを求めました

2022年度予算に対する会派・友和の指摘事項

事業名	概要	指摘事項
薬王寺「快生館」インキュベーション促進事業費 7320万1千円	●累計予算額は 2億1063万8千円 (2020年度5200万円、2021年度8543万7千円) ●市長は市費負担が少ないことを強調 ●公益性や見通しについては疑問	●サテライトオフィス等誘致促進条例(仮称)を整備し、その目的や市の支援措置等の根拠を明確にすること ●指定管理者制度に準じた設置・管理・運営に係る条例等のルールを定めること
介護予防センター内部改修工事設計委託 257万5千円	●米多比児童館、あすなる教室の移転を前提 ●市長答弁「廃止を検討する施設として挙げたのであり廃止を決定した事実はない」と矛盾	●あすなる教室、米多比児童館については関係者、利用者との話し合い、安全確保が整うまで移転を行わないこと
AIオンデマンドバス 3306万9千円 運行委託1286万6千円、運行支援委託2020万3千円	●花鶴ヶ丘と日吉台で今年10月から実証運行 ●公共交通問題に対する市民の期待は大きい ●実証運行が多く市民に利用されることが大事	●エリア内・外のミーティングポイントを現計画案より増設すること ●会員登録がスムーズに進むよう具体的対策を講じること
古賀駅西口エリアの本質的再生 拠点形成事業補助金 4818万円	●累計予算額は 9460万円 ●テナントミックスを条件に、拠点形成の規模が当初の2千万円から6千万円に増額 ●古賀駅西口の活性化は長年の課題、正念場 ●多額の公費投入、補助金の在り方に疑問も	●多額の公金投入の意義や見通しを絶えず市民に明らかにすること ●商工会や地域住民と連携し市民が期待する多様なニーズに応える場をめざし、地域との繋がりを大切に、生活を支える西口エリアへの発展を図ること

千鳥苑、市民体育館等の「移転・廃止」(案) 市民との対話で見直すことを求めます

公共施設等総合管理計画【第1期アクションプラン】

2014年4月 総務大臣通知・策定要請

2060年までの40年間に総延べ床面積を約2割圧縮
コスト面では約54億7千万円の削減

2017年3月策定

第1期アクションプラン: 2021年度～2030年度

2021年8月原案
2022年1月決定

施設名	面積 m ²	機能	建物	備考
市民体育館	1175	移転を検討	廃止を検討	計画期間内に、 関係団体と協議を行い、 施設の方向性について 明らかにする
クロスパルこが	7242	維持	複合化を検討	
米多比児童館	433	移転を検討	廃止を検討	
あすなろ教室	66	移転を検討	廃止を検討	
市民活動センター	45	移転を検討	廃止を検討	
千鳥苑	1546	移転を検討	廃止を検討	

千鳥苑は年間4万人～5万人が利用
高齢者、子ども、地域コミュニティにとって大切な場所
43年の歴史を継続・発展させましょう

いま満開の河津桜

食事コーナー

将棋・囲碁・マージャンを楽しむ方も

**千鳥苑は笑顔になる場
息抜き、生き抜く**

古賀市 第2 地域包括支援センター

入館料150円でお風呂にも入れます

第2包括支援センター隣には「しゃんしゃん」

古賀市でも若い世代を中心に再び増加傾向

自宅療養で困ったときは942-1156 (福祉課) に電話を!

新型コロナ・古賀市の感染状況

再び増加傾向
感染予防の徹底を

	合計	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
4月1日	29人	5人	6人	5人	3人	8人	0人	0人	0人	1人	1人
3月31日	31人	4人	6人	4人	5人	7人	2人	2人	0人	0人	1人
3月30日	23人	5人	3人	5人	4人	2人	1人	1人	2人	0人	0人
3月29日	12人	4人	2人	2人	1人	1人	2人	0人	0人	0人	0人
3月28日	24人	5人	8人	3人	6人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
3月27日	29人	9人	3人	6人	3人	4人	2人	2人	0人	0人	0人
3月26日	18人	5人	4人	5人	0人	3人	1人	0人	0人	0人	0人
3月25日	24人	3人	3人	3人	2人	5人	0人	0人	0人	3人	5人
8日間計	190人	40人	35人	33人	24人	31人	8人	5人	2人	4人	7人

10代未満～40代の感染が増えています。自宅療養で困ったときは092-942-1156(福祉課)に電話を!

田辺市長は千鳥苑の廃止を
決定していないと認めています

市長は千鳥苑の価値を認め
うえて、将来世代のため公共
施設の総量を適正化(削減)
する必要があると発言

千鳥苑等の「移転・廃止」
田辺市長の答弁
(2月25日の本会議)
「廃止」検討の施設を計画
に挙げたのであり、「廃
止」を決定した事実はない

市民の声を市長に届け、
千鳥苑の存続・発展をめざしましょう

千鳥苑は老朽化が進み危険になる。廃止が強く聞こえるが、建替え、民間移譲、仮にどこかで建替えたにしても、あの場所で建替えたにしても、民間と一緒にして経費を浮かす等々をこの10年間で考えようと申し上げている。(副市長の答弁) ※この答弁が今後の協議の前提だと思います